

銚子ジオパーク市民の会 ニュース



第129号

2024年6月13日発行

発行責任 工藤 忠男

銚子ジオパーク市民の会

URL : <https://choshigeopark.com>



報告 2024年度

市民の会総会開催 副会長 小玉健次郎

5月18日(土) 14時30分から銚子市勤労コミュニティセンターで、2024年度銚子ジオパーク市民の会総会が開催されました。

工藤忠男会長の挨拶に続き、来賓の越川信一市長から、2023年10月に銚子ジオパークを中央会場としてJGS 全国大会が成功裏に開催され、市民の会のメンバーが重要な役割を果たしたことに對する謝辞と、2024年度は3回目のジオパーク更新審査があるので、頑張ってくださいましよう、との挨拶がありました。

出席者数について茂木洋佑副事務局長から報告を受けた後、2023年度の活動報告を小玉健次郎副会長、収支決算報告を田中豊事務局長、監査報告を保立和則監査が報告し、会場出席者の拍手多数で承認されました。続いて、2024年度の活動計画案を宮内敏副会長が、収支予算案を田中事務局長が説明

し、出席者の賛成挙手多数で承認されました。

また会則の改定案を小玉副会長が、2024・2025年度役員選任案を工藤会長が説明し、会場出席者による質疑応答が行われました。

会則改定案に関しては会場から、前文を付けた経緯について質問があり、会則検討班の石嶋博行理事から説明があったのと、前文の「SDGs」記載を削除すること、「活用と保全」を「保全と活用」に変えたこととの提案説明がありました。質疑応答のあと、工藤議長から挙手による表決が求められ賛成多数で2案が承認されました。最後に、新任された理事

・役員が一人ずつ紹介され、総会は終了しました。

総会記念講演報告

房州 文子

総会終了後、予定より10分遅れの15:55より推進協議会との共催による総会記念講演がZoom 同時配信で開催されました。



講演中の梅津佳弘氏

講師は(一般社団法人)銚子市観光協会事業統括部長の梅津佳弘氏、

演題は「旅の変化—アフターコロナのこれから—」

梅津氏は2019年大吠埼ホテルに着任され、取り組まれた、ラストサマー・元旦イベント・温泉研究・インバウンド観光・ジオカフェなどの紹介。インバウンドでは『台湾』を対象

とした理由や、千葉科学大学が中心となって大吠埼温泉の源泉の効能を科学的に証明する研究を行ったりした事例の紹介がありました。

これからの旅の変化として、パッケージツアーから自分で組み立てる旅行へ、団体旅行から個人旅行へ、「見る」から「参加・体験する」旅行へ、「景色・名所を見て楽しむ」から多様な「色・名所を見て楽しむ」旅行へ、というお話を伺いました。

多様化する旅の変化にジオパークも積極的に取り組み、多くの方々が銚子を訪れる機会を要しました。原案の提案と検討は、活動連絡会と理事会で行われ、色々と修正され、五月にまとまりました。改正案は総会で提案され、承認されました。

会則検討班からの報告

「会則が実際の活動とかけはなれてきたので、会則を見直そう」と、昨年五月の活動連絡会で話題となりました。

六月の理事会で、協議確認事項となり、会員5名の立候補による会則検討班が発足して以来、市民の会会則の見直しをしてきました。

会則検討班の作業手順は次のとおりでした。

- ① 意見集約 七〜八月
- ② 原案作成 九〜二月
- ③ 提案と検討 一二月

原案作成の方針は、
① 現行会則が土台
② 平易表現と条文明記
③ 意見集約では、前文、目的と事業、会員と役員、役員選出、会議と、多くの会則見直しの提案がありました。

原案作成では、追加条文のオパークも積極的に取り組み、多くの方々が銚子を訪れる機会を要しました。

原案の提案と検討は、活動連絡会と理事会で行われ、色々と修正され、五月にまとまりました。改正案は総会で提案され、承認されました。

今回の改正は2018年の「市民の会」の名称変更以来です。会則は、市民の会の活動指針です。2024会則が、皆様に

読み理解され、銚子ジオパーク市民の会の活動に運用されていくことを、会員の一人として願っています。

(石嶋博行)



市民の会総会&記念講演風景